

# 啐啄

学校便り「啐啄」「そつたく」～「啐」は、ひなが卵の殻を破って出ようとして鳴く声、「啄」は母鳥が殻をつつき割る音です。親鳥と雛の絶妙のタイミング。同様に、先生と子ども、保護者と子ども、先生と保護者等の呼吸がぴたりと合うことを願いつつ、本年度も学校だよりのタイトルとしました。

## 北浦小の2学期をふりかえって

2学期を振り返りますと、終始新型コロナウイルスの対策に苦慮しながらの教育活動の連続でした。9月の5年生のむかばき宿泊研修では第2波の影響を、12月の6年生の修学旅行では第3波の影響を、それぞれに心配しながらの実施となりました。また、秋の大運動会は、午前中のみで開催としました。12月の参観日は中止いたしました。それでも、遠足や各学年の校外学習、講師を招聘しての活動等も含めて、可能な限り実施できたことは、1学期とは大きく違うことでした。コロナ禍において、子どもたちがさまざまな体験を通して学ぶ機会を確保できたことは、大きな収穫と言えます。そして何より大切な事は、そのような教育活動の中において、子どもたちが確実な学びの成果を出してきたと言うことです。各学年において、生活面や学習面において、確実な成長の跡を見ることが出来ます。全体を通してみても、北浦小みんなで取り組んできた「あいさつ」や「ろう下歩行」、「チャイムを守る」、「授業中の集中力」等々、がんばり続ける姿があります。高学年がよい手本となりリードして、落ち着いた雰囲気やけじめのある態度を、学校全体に醸成しつつあります。本当によく頑張ってきたと感じています。1学期に引き続き「継続」してきたことに、とても意味があります。「継続は力なり」一歩一歩前進している北浦小です。もちろん、それぞれの学年の課題や個々の課題も残されています。くり返し指導する中でも、なかなか身につけていないところもあります。3学期も「一人一人の学びの保障と心を動かす学校」をめざして、「北浦っ子一人一人の一步前進」をめざして、全職員で取り組んでいきます。2学期も本校の教育活動に対して、皆様に多くのお力添えをいただき、助けていただきました。保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力に改めて感謝いたします。本当にありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。

「来る2021年がよい年でありますように！」と、例年以上に思いを強くします。北浦っ子にとってよき年でありますように、皆様にとってよき年でありますように！どうぞ皆様、よい年をお迎えください。

## 1月行事

※25日(金)～1月6日(水)冬休み

- 7日(木) 3学期 始業式
- 8日(金) 清掃班会
- 12日(火) 委員会活動
- 14日(木) 集金日 ベルマークの日
- 15日(金) 食育授業(6年)
- 19日(火) PTA読み聞かせ
- 20日(水)～21日(木) CRTテスト
- 21日(木) クラブ活動
- 22日(金) 北浦中新入生説明会(6年)
- 26日(火) 給食感謝集会
- 29日(金) 子どもの声を聞く会



2021年、3学期  
もがんばろう！

## 修学旅行

12月3日～4日にかけて、6年生の修学旅行を実施しました。本年度は感染症対策のため、宮崎県内への旅行でした。

1日目：北浦～西都原古墳群～飢肥城～鶴戸神宮参拝～青島ANAホテル

2日目：青島神社参拝～フェニックス自然動物園～北浦

修学旅行を終えて振り返りますと、6年生のけじめのある集団行動が心に残ります。特に、自分の事だけ考えるのではなく、説明くださる添乗員さん、ガイドさん、指導員の方々、ホテルの方々、等々、常に相手意識をもった行動にすばらしさを感じました。様々な場面で、6年生として歩いてきた学びの成果を表現することができました。感染症対策により実施時期や旅行先を変更して、ようやく12月に実施することができました。全ての関係者の皆様に、感謝申し上げます。本当にありがとうございました。おかげさまで、安全に健康に修学旅行を終えることができました。一つ一つの行事を超えるたびに成長してきた6年生、今後も北浦小のリーダーとして引っ張ってくれることと思います。



## ベルマークにて購入！

これまでのベルマークの収集活動にて得たポイントにて、「ドッジビー」「ミニバレーボール」を購入させていただきました！昨年度の収集活動では「21,521点」、本年度は現時点で「8,141点」集まっております。これまで北浦小にて積み立てされてきた中から、今回はこの2つを購入させていただきました。ありがとうございました！子どもたちの活動を支える物を、今後も購入させていただきたいと考えています。ベルマーク委員会の子どもたちもがんばっていますので、今後ともご協力お願いいたします。

## 受賞おめでとう！

第79回宮崎県学校発明くふう展にて、特賞・日本弁理士会奨励賞を受賞した6年生の工藤むつきさんの表彰を行いました。「停電警報器」という発明で、宮崎県庁本館講堂にて表彰されたものです。防災という観点、人の命を救う事につながる発明というところが、実にすばらしいと思います。

一行詩「生命いのちのこえ」コンテストにおいて、見事入選を受賞した3年生の酒井ゆうまさんの表彰を行いました。

「あわせた手はあたたかい。つないだ手はあたたかい。あたたかいていいな」

4千を超える応募作品の中から選ばれた入賞です。実に心あたたまる一行詩です。